

事務事業名		小学校施設整備事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課	
総合計画体系	政策名	(IV)ふるさとを学び育つまち<教育・文化>		所属G	施設維持G	課長名	須山 貴吉	
	施策名	(27)学校教育の充実		担当者名	高島 章弘	電話番号	0854-40-1071 (内線) 2273	
	目的:対象	小学校の児童・中学校の生徒	意図	基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力を身につける。				
	基本事業名	(084)学校の施設・設備の充実		予算科目	会計 0150	大事業名	小学校施設整備事業・総務管理事業・教育振興事業	
目的:対象	児童・生徒	意図	充実した教育施設・設備で学ぶ。				中事業名	小学校施設整備事業・施設小規模修繕事業・特別支援学級設置事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 前年度に実施した全小学校への修繕等要望ヒアリングを基に平成29年度実施計画を立案し、修繕・改修工事及び業務委託を実施する。また、計画外の緊急を要する修繕等についても適時実施する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動) 学校要望や緊急を要する修繕・改修工事 【主要な実施修繕工事】 ・鍋山小学校 プール管理棟屋根等修繕 ・鍋山小学校 屋体天井部材落下対策修繕 ・海潮小学校 老朽給水管敷設替修繕 ・西小学校 校庭劣化危険鉄棒修繕 ・寺領小学校 家庭科室等暖房機故障修繕 ・木次小学校 電気室高圧遮断器修繕 ・鍋山小学校 普通教室等暖房機故障修繕 ・大東小学校 校舎2F男子トイレ洋式化修繕				
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
ア	修繕・改修工事実施件数	件	188	162	153	22
イ	修繕・改修工事把握件数	件	311	276	205	191
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	市内小学校	ア 市内小学校数	校	16	15	15	15
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	学校施設機能の維持・向上につながる	ア 修繕・改修工事実施率	%	60.5	58.7	74.6	11.5
		イ					
		ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
[小学校施設整備事業] 修繕費(一般修繕) 16,832千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
[小学校施設小規模修繕事業] 修繕費(小規模修繕) 7,584千円		県支出金	千円			
[小学校特別支援学級設置事業] 修繕費(特別支援学級) 1,393千円		地方債	千円			
		その他	千円	1,065		
		一般財源	千円	28,077	35,961	25,809
		事業費計(A)	千円	29,142	35,961	25,809
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	2
		延べ業務時間	時間	1,200	800	491
		人件費計(B)	千円	4,697	3,174	2,002
		トータルコスト(A)+(B)	千円	33,839	39,135	27,811

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
学校施設・設備の老朽化が顕著となっており、修繕費が不足している状況である。また、設備については近年のニーズに対応できていない学校が多く、更新が求められている。	学校修繕要望ヒアリングの結果から必要性の高い修繕を優先し、効果的な実施に努めている。	和式トイレなど旧設備の改善が望まれている。また、雨漏り等の老朽化対策も急務となっている。

事務事業名	小学校施設整備事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はあるか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設の老朽化に伴い修繕が増加しており、予算内ですべての修繕対応ができない。現状、予算範囲内で最大限の修繕を実施していることから向上の余地はない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	学校施設は教育委員会の所管であり、他事業との統廃合はできない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	修繕要望は年々増加する一方で、事業費を削減することはできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	修繕要望は年々増加する一方で、人件費を削減することはできない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	小学生の安心安全な教育環境を維持するための事業であり、公平・公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校施設は年々老朽化が進み、修繕なしでは維持できない状況にある。現状、限られた予算内において最小限の人員で最大限の成果が得られるよう修繕を実施していることから、本事業は適切に執行されている。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携																		
<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																		
学校施設長寿命化計画等の施設維持計画を立案し、事業を実施していくことが望まれる。																					
		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																					